

甲賀広域行政組合消防本部からの情報を発信します！

大空へ羽ばたけ！
“消防活動の切り札”

“できる”
が広がる。

消防×ドローン

甲賀広域行政組合消防本部では、このたび無人航空機(ドローン)を導入し、運用を開始しました。この無人航空機(ドローン)を活用することにより、上空からリアルタイムで災害現場を把握することができるようになり、要救助者の位置の特定や、救出ルートの確認など、消防隊員が立ち入ることが困難である状況下でも効果的な活動を実施することが可能となりました。今後、災害現場において、この無人航空機(ドローン)を最大限に活用し、市民の皆さんの安心と安全をより一層向上できるよう、職員一同、操作技術の向上に努めていきます。

ドローン
導入！



今年に入り、**火災が多発**しています。火の取り扱いには十分注意しましょう！



この発表会では、ここ数年間において、甲賀市・湖南市内で発生した火災の原因を調査する過程で苦労した点や、今後の事故防止に向けた取組などについて、各消防署の担当者4名がそれぞれの事例を発表しました。

本消防本部では、今後も発表会や研修などをとおして、火災調査技術の向上に努めていきます。

火災調査事例から学ぶ

あの日を忘れない

2011.3.11



東日本大震災の発生から本年3月11日
 て10年の歳月が過ぎました。
 この震災によりお亡くなりになられた
 方々に改めて哀悼の意を表しますととも
 に、被災されました方々にお見舞いを申
 上げます。また、今な。復旧・復興の
 ためにご尽力されている方々に心から敬
 意を表します。
 当時、緊急消防援助隊滋賀県大隊とし
 て本消防本部から延べ83名の職員が現地
 へ赴き、凄惨な現場を目の当たりにしな
 がら全国各地から集結した同志とともに
 行方不明者の人命救助活動や負傷者の救
 護活動に従事しました。
 この東日本大震災以降も全国各地では
 数多くの災害が発生しており、本年2月
 13日には福島県沖で最大震度6強を観測
 する地震が発生したところです。さらに
 は、今後、南海トラフ大地震等の発生が
 危惧されており、改めて地震や豪雨など
 の災害に備え、日々の防災意識を高めて
 いかねばなりません。

逃げ遅れの原因

正常性バイアス

「正常性バイアス」または「正常化の偏見」という言葉をご存じでしょうか。

これは、異常事態が起こっても、「**自分は大丈夫**」「**大したことにはならない**」と正常の範囲内として平静を保とうとする心の働きのことです。災害時には逃げ遅れの原因となる可能性があるものです。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、大津波警報が発令されていることを知りながら避難していない人が大勢いました。また、平成26年9月27日に発生した御嶽山の噴火では、犠牲者の一部の方が避難することなく、噴火の様子を撮影していたことが分かっており、これらはまさに正常性バイアスが働いた典型的な例といわれています。

異常事態（災害時）においては、正常性バイアスのような心理状態に陥る可能性があることを自覚したうえで、決して楽観視することなく、冷静に行動することが大切です。

来るべき災害に備え、日頃の備えの一つとして、心の中に留めておきましょう。



▶ 被災地（福島県）での活動の様子

令和3年甲賀消防管内 災害発生状況(2月末現在)

火災	14件
救急	891件
救助	14件
その他	51件

Net119緊急通報システム 新規登録・登録内容変更について

利用者登録が必要!

Net119は、音声で119番通報することが難しい方のために作られたサービスです。このシステムの新規登録と内容変更手続き等については、**本消防本部通信指令課**で随時行っています。登録の際は、必ずご使用の携帯電話・スマートフォンをお持ちください。各消防署では登録ができませんので、ご注意ください。

【利用対象者】 甲賀市・湖南市に在住・在勤・在学の方で音声での119番通報が困難な方

【お問い合わせ先】 甲賀広域行政組合消防本部通信指令課
TEL 0748-62-0119

甲賀消防
Facebook



<https://www.facebook.com/kokashobo.119/>
※上記QRコードで簡単にアクセスできます。

Information
いろいろ情報板